

新庄市立小中学校メディア教育環境整備事業構想

新庄市教育委員会学校教育課

平成17年度からの10年を見通した新庄市長期教育プラン「いのち輝く新庄 もみの木教育プラン21」の中には、以下のような育成すべき子どもの力・姿を掲げている。

第2章 いのち輝くたくましい新庄っ子を育てます

4 近未来にたくましく生きる新庄っ子を育てます

(1) 情報化社会を生き抜く情報教育の推進

イ メディア教育の推進

ロ 情報活用能力の育成

ハ 教育用コンピュータの整備

□ インターネット接続回線の高速化、校内ネットワーク整備が必要

また、今年度新庄市教育委員会が作成した「いのち輝く新庄 心の教育の充実に向けて～平成21年度教育の重点～」の中でも、以下のような重点項目を掲げている。

2 学校教育の重点施策

(4) 近未来にたくましく生きる新庄っ子の育成をめざして

◇ 新教育用コンピュータの導入及び有効活用

新たに5年間のリース開始。一人一台の教育用コンピュータを最大限に活用し、個々の情報リテラシーと学習効果を高める。

◇ メディア教育の推進による情報活用能力の育成

以上のメディア教育（ICT教育）の重点施策を具現化するために「情報教育推進委員会」及び「情報教育推進小委員会」において、ICT教育環境整備の骨格・方向性を確認してきた。これらのことを以て、新庄市立小中学校メディア（ICT）教育環境整備構想を以下のように示す。

1 校務用PCの整備（一教員一台PC）及び児童生徒の少人数学習用PCの教室配備

◇ 校務用パソコンの整備に伴う本体サーバーでの情報一括管理（校務負担軽減・情報漏洩対策）を徹底する。

◇ 児童生徒の教室学習におけるPC利活用（調べ学習等）の充実に向けた整備。

2 メディア教育全般に関する知識理解、必要技能の習得、コンピュータ有効活用授業等について、教員の教育力向上を目指す（ICT教育活用研修会等の開催）。

◇ ICT教育活用研修、最新の情報モラル指導法等の継続。

◇ インターネット等の情報活用に際して、ウイルス対策や児童生徒に対する正しい情報モラル教育を進めていく。

3 学級（教室）毎の日常授業において、（視覚的操作、説明を補充する）電子黒板等機器やその周辺機器・学習ソフト等の効果が大きく期待できる活用法の研究を進め、その環境整備に努める。